

(評価書作成上の注意点)

- \* 本評価書作成の際は、日本語で記入してください(英語で記入する場合は英語の書式を使用してください)。なお、手書きする場合は、黒インク又は黒ボールペンで丁寧に記入してください。
- \* 評価書2通の作成者は、申請者の研究を良く理解している研究者とし、うち1通については、研究中断前の受入研究者、現在の受入研究者又は採用後の受入研究者とします。「申請者との関係」欄に、申請者との関係を具体的かつ詳細に記入してください。
- \* 本評価書は、審査の重要な資料となるので、当該申請者についてできるだけ具体的かつ明確に記入してください。
- \* 本評価書は両面印刷としてください。本書以外に新たに用紙を加えることはできません。
- \* 写しは6部(A4版、両面コピー)とり、本書及び写しを併せて封筒(角2)に入れ厳封の上、申請者が作成する申請書に添付してください(封筒の表に申請者名と評価者名を記載してください)。

特別研究員-RPDについて

独立行政法人日本学術振興会は、我が国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者の養成・確保に資するため特別研究員制度を実施しています。

この特別研究員制度の一環として、学術研究分野における男女共同参画を推進する観点も踏まえ、優れた若手研究者が出産・育児による研究中断後に円滑に研究現場に復帰する環境を整備するため、研究奨励金を一定期間支給し、研究活動再開を支援する特別研究員-RPDを平成18年度に創設しました。

参考：過去の特別研究員 - RPD採用状況(平成18年度)

年度	R P D		
	申請数	採用数	採用率
18	140	32	22.9%

詳細は本会ホームページをご覧ください。

本会「特別研究員」ホームページ(<http://www.jsps.go.jp/j-pd/index.html>)

「審査」「採用状況」